

第2回「福岡県2支部交流懇親会」開催

集え！県内の龍谷大学卒業生



昨年10月21日に、オリエンタルホテル福岡・博多ステーションにて、第2回／福岡県2支部交流懇親会が開催されました。

この会は、不定期ではありますが、北豊支部と福岡支部が交替で準備を担当していくことで、2019年の第1回に続き開催されたもので、あらましながらその様子をここにご紹介申し上げます。

会は挨拶や乾杯に続く歓談の後、アトラクションとしてまず「龍谷大学キャンパスツア」と称し、現在の各キャンパスの様子がプロジェクターで映写されました。

続いて「自己紹介タイム」となり、それぞれが学生時代の思い出や近況、また会の感想等を述べました。印象的だったのが、今回の参加募集は会員だけではなく、インターネット等を通じ、「龍谷大学卒業生－福岡県民の集い－」として広く呼び掛けたため、何かよくわからんけど、とりあえず行つてみようかと参加した人が5、6名ほどいたということです。そのため今年度卒業したばかりという人を含め、20代、30代の若者が目立ち、ちょっとうらやましく思えたことでした。

同時に、福岡支部には〈深草会〉という、深草キャンパスだけで4年間完結した、文学部以外の会員で構成される会があるように、北豊支部とは違ってお寺関係以外の会員が相当数いて、これも北豊支部では味わいにくい、ちょっとうらや

ましい点です。北豊支部でも、見習えることは見習って、今後の参考にしていきたいと思うところです。

また、一人の会員から会社を経営していますという自己紹介のあった後に、逆に「いま無職で就職先を探します」という近況報告があつて、回りから、雇つてもらえ、雇つてやれといった声が飛び交つていましたが、何か校友会らしい風景でいいなと思いました（どこが、と言われても困るのですが…。ただ、校友会の先輩、後輩が縁になつたらいいなと思つたのですが、さて、実際はどうなつたでしょう？）。

自己紹介タイムののちは「くじ引きタイム」ということで、豪華賞品を懸けたゲームやくじ引きで楽しみ、最後に記念撮影を行い、閉会の挨拶があつて終了となりました。

まだまだ新型コロナの影響もあつたのか、出席は40名足らずと少数でしたが、3年振りの交流会ということで楽しい時間を過ごさせていただきました。

ちなみに、北豊支部からは7名の参加でした。参加いただきました皆さん、遠路有り難うございました。

〔記・〇〕



（2023年度・北豊支部総会）のお知らせ

去る2月14日の役員会にて、2023年度の総会及び懇親会を左記のように予定いたしました。会場は小倉ですが、詳細は未定であらためてご案内申し上げますが、とりあえず日時をスケジュールに組み込んでいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

《日時》 2023年6月17日（土）

■総会／17時30分～18時 ■*記念行事／18時15分～19時

■懇親会／19時～21時（終了予定）

*安芸教区僧侶有志伝道団「アサカラザル」公演

昨年の秋、鎮西別院で親鸞聖人御誕生850年／立教開宗800年慶讃法要の記念行事として、和泉流二十世宗家・和泉元彌さんによる狂言が、解説付きで行われました。

狂言は舞台の背景がいつも松の木だけで、場面転換の時は例えば演者が「都みやこじやあ」と言いながら動くと、そこは都となり、その都の風景は、見ているお客様一人ひとりが想像を膨らませて設定するんだそうです。

皆さんも「龍大じゃあ」と聞いたら、どのような風景が浮かびますか？私はまず入学式の日、キャンパス内でクラブ勧誘のための在学生と新入生が入り交じり、すごい人の在学生と一緒に歩く風景でしよう。

私は1982年に短期大学部・社会福祉学科に入学しました。初めて親元を離れての一人暮らし。知り合いもない心細さと、何となく楽しそうな大学生活に対する期待とが交錯する思いでいました。

そんな中での初日、幾つものクラブから道を塞ふさがれどう対処したらいいのかわからず、とにかく教室に向かいながら多少の恐怖と驚きを感じていました（翌年には自分がその勧誘をしているとは、おもしろいのです）。

結局、その日には勧誘を受けなかつたフェンシング部にご縁があり入部しました。

龍大の風景

1984年・短期大学部卒



龍大の風景

こうやって思い起こせば、本当にいろんなことがありました。もちろん困ったり悩んだ

私が社会福祉学科を進路に選んだのは、生まれ育ったお寺以外で視野を広げたかったというのが、一番の理由です。でも、とにかく「忙しかった」の一言に尽きます。

フィルターを通して、すべてがいい思い出に変わっていくのは私だけでしょうか。何もかもがかけがえのない経験であり、今の私においては、ただただご縁だったと思ひます。

最後に、この原稿を書くことになり、正直最初は気が重かったのですが、そのおかげで懐かしい大学時代の風景を思い起こすステキな時間を持つことができました。このような機会を頂戴し、有り難うございました。

フエンシング部は体育局ですので、毎日練習があり、先輩なんかは講義を休んででもクラブには来ていた状態でした。

回行かなければなりません（私は教護院に行きました）。また、その前後は提出書類も多く、ピアノ練習もあり、極め付けは（今はな

ーニングしたり、上下関係も厳しく、勧誘時の説明とはだいぶ違う現実が待っていました。でも女子部創設部員とあって、先輩方は厳しい中にも大切に指導して下さいました。これから約40年、フェンシングのルールは忘れて、メンバーや今でも交流があるのは、中身

福は女子ばかりだったので話題は豊富で、しゃべる、しゃべる……。数十年振りにあって

入部当初は大きな声で学歌や逍遙の歌を歌わせられたり、伏見稻荷大社まで走ってトレーニングしたり、上下関係も厳しく、勧誘時の説明とはだいぶ違う現実が待っていました。

たり、アルバイトもしてみたいしと、北九州まで帰省することも難しいほどでした。でも

でも女子部創設部員とあって、先輩方は厳しく中止を旨導いて下さるまゝだ。あれ

その合間をぬつて、友人とよく語らいました。

「ささめき」の誕生日



このたびは校友ではなく、ちょっと現役学 生たちのお話を。

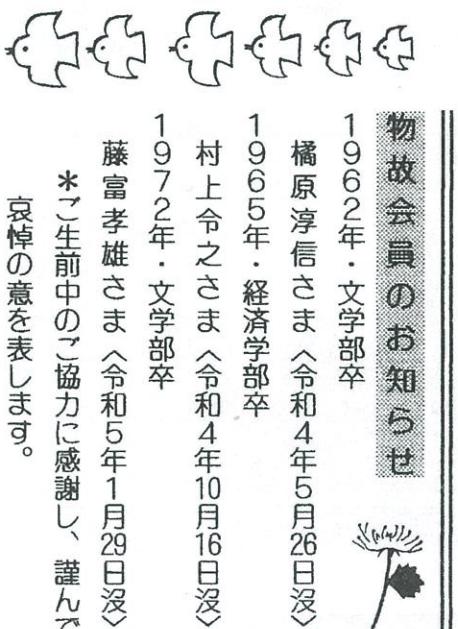
皆さん、「ハモネプ」ってご存じですか？

名倉潤、原田泰造、堀内健の3人組のネプチ ューンが司会を務める、若者たちがハーモニ ーの美しさを競う大会です。そのハーモニー も、アカペラ（楽器を使用しない無伴奏での コーラス）で行うという特徴があり、人気を 博して以前はレギュラー番組として放送され ていましたが、いつの頃からか不定期に随时 大会が開催されるようになり、直近の大会は 昨年12月24日に『ハモネプ2022／クリスマス SP』として放送がありました。

何か当紙とは関係のない話のようですが、 実はその大会に龍谷大学生のグループが出場 して決勝まで勝ち進み、エントリー総数18 3組の中から、見事全国5位に輝きました。

彼らの名は、瀬田キャンパスで活動する一 般同好会のアカペラサークル（今、こんなの があるんですねえ、これも番組の影響か）に 所属する「ささめき」。

番組では演奏の前後に各グループの活動状 況や出演者の感想などが紹介されるのですが、 ささめきはやはり『仏教の大学』ということ に焦点を当てられていました。



物故会員のお知らせ



1962年・文学部卒

橋原淳信さま（令和4年5月26日没）

1965年・経済学部卒

村上令之さま（令和4年10月16日没）

藤富孝雄さま（令和5年1月29日没）

*（生前中の）協力に感謝し、謹んで 哀悼の意を表します。

紹介ビデオはまず礼拝堂での勤行のシーン から始まり、『極楽ハーモニー』のテロップ と「仏教の東大とも言われる、滋賀の龍谷大 学（ん？）」のナレーション。続いて勤行中 の『ご和讃』が紹介され「実はお経と音楽に は深いつながりが…」と、このあたりが言 いたかったようですが、メンバーも「仏教で 学んだ澄んだ心でハーモニーを届けたい」と コメントしていました。ただ曲目が『ラスト クリスマス』で、回りの出演者たちから「仏 教なのに」などの声。演奏後には手にしてい たお念珠をいじられ、「数珠持つてるの？」 「それでラストクリスマス？」「神様もびっ くり！」などとツッコミの嵐でした。

演奏は勿論ですが、こんな形で母校の様子 が紹介される機会を作ってくれたささめきの みんなに、感謝を込めて、あらためて拍手喝 采したいと思います。楽しかったよ！！

感動局

▼まだ3月も上旬だというのに、4月 5月の気候とテレビから流れできま す。今はいいのですが、このまま夏にな なつたらと心配するのは私だけでしょ うか。ある先生より「『いま』をしつ

かり受け止めないと、人は取り越し苦労と 持ち越し苦労で一生が終わる」と伺いま したが、この心配が取り越し苦労であつてほ しいと思ってしまいます。▼このたびは完 全に私的な原因で発刊が遅くなりました。 苦労ではありませんが、1月中旬より仕事 を持ち越し持ち越して今は至っています。 特に期限を切つて待つてくれている人がい るわけでなし、とも思つのですが、この調 子でいくと3月終わりまでこの状態が続き そうです。この悪循環をどこかで断たねば と思っているのですが、これも『いま』を おろそかにして、仕事を持ち越してきさせ いでしまう。▼ただし、校友会北豊支部の 准備だけはきちんと出来ています。これも 他の頼りになる役員さん方のおかげかと思 います。この前の役員会では2年後となる 結成10周年の記念ゲストの話まで出て盛り 上がりました。実現すれば、あとと驚くよ うなゲストです。どうぞ楽しみにしていて ください。▼とりあえず1ページでお知ら せの6月の総会・懇親会、どうぞ日時を予定ください。一人でも多くの皆さんのが 参加をお持ち申上げます。

〔記・〇〕



このたびあちこち



龍谷大学卒業生「福岡県民の集い」

北豊支部・福岡支部合同交流会



◎福岡県2支部交流懇親会

#このたびは福岡支部の引き受けで、博多で行われました。右、開会にあつての坪根正武・福岡支部支部長（1967年・文卒）のご挨拶。左、こちらは乾杯の音頭をとる当支部副支部長・菅原正昭氏。楽しく過ごさせていた



龍谷大学卒業生「福岡県民の集い」
北豊支部・福岡支部合同交流会



◎右、オンライン開催の「龍ロン小町」総会の参加者への記念品の匂い袋。北豊支部からは加藤さんと中川さんが参加しました。興味のある方はご一報ください。



◎ハモネプ2022クリスマスSP

#上と左、龍谷大学アカペラグループ「ささめき」が出演。詳細は3ページをどうぞ。それにしても、これほどテレビ画面で「龍谷大学」の文字を見たのは初めてかも。ちなみに写真がゆがんでいますが、テレビを写真に撮るのは難しい、ということでご寛恕ください。